

大町病院を守る会会報

No. 53

2017年4月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

「新改革プラン」についての懇談会に70人余が参加
独立行政法人化は課題多く必要性などは今後検討
平成32年度に黒字転換を目指す



3月22日、守る会主催の『大町病院の現状と「新改革プラン」』と題して公開の地域懇談会が大町病院南棟さくらで開催された。懇談会には住民、会員、職員など70人が集まりました。現在大町病院は営業収入約44.5億円に対し、支出は約48.8億円。H27年度の赤字額は4.3億円。医業収入は減っているが給与費は逡増。不足する資金は借金で賄っている。今後大北医療圏は人口減少と患者の高齢化が進み2015年と2035年を比較すると介護需要は2割以上増加し、医療需要は91%に低減する。これらの状況を踏まえ新改革プランが策定された。主役は職員。時間的ゆとりはもうありません。病院再建のために、本気になって守る会も応援していきましょう。

井上善博院長（事業管理者）、勝野健一経営企画室長が報告

【要旨】

独立行政法人への移行は「職員の退職金」「債務の取り扱い」等、多くの課題があり、その必要性や可能性について「議論の場」を立ち上げる。経営改善は、現行の公営企業法全部適用のもとで進める可能性が高い、そのために①常勤医師の増員②患者数の増加③地域連携を強化④収益確保のため、部署ごとの目標を定め、達成に向け計画的に取り組む⑤業務の効率化、人員及び人件費の適正化⑥材料費、経費の削減とし、細部にわたり具体的な検討、対応策を示した。また、これらの取り組みを職員全体で推進していくため、その改革推進に当たる、多職種による「経営改善チーム」を設置し、きめ細かな改善を進めていく。

睡眠時無呼吸症候群で事故、 めまい、ふらつきがおこる

地域懇談会に引き続き開催された公開講演会には約 70 人の市民、会員でにぎわった。青木俊樹先生から「睡眠時無呼吸症候群」について約 1 時間にわたり熱心に講演をいただいた。呼吸停止が 1 時間に 20 回以上の人の生存率は正常な人の 6 割となることなど、日ごろ私たちが知らないでいることを次々と話された。

「講演要旨」

◆睡眠時無呼吸症候群とは（厚労省）

過眠を引き起こす病気

・眠り出すと呼吸が止まり身体が酸欠状態となり睡眠が中断します。しかし眠り出すと再び呼吸が止まってしまい深い睡眠が出来なくなります。慢性の睡眠不足の状態となり、昼間の眠気が出現する。これを放置すると 10 年後には 3～4 割の人が死亡しており、早期治療が大切。

◆睡眠時に 10 秒以上（通常 20～50 秒）持続する呼吸停止または浅い呼吸が 1 時間当たり 5 回以上反復し覚醒反応が頻回におこります。無呼吸に伴い動脈血酸素飽和度の低下が反復して生じます。このため頭暈、口渇、心不全、高血圧、糖尿病、認知症などが合併しやすくなります。

◆睡眠時無呼吸症候群（SAS）になりやすい人

- ・肥満
- ・下あごが小さく後退している人
- ・扁桃肥大
- ・鼻詰まりのひどい人
- ・首が太くて短い人
- ・口蓋垂長い人



◆SAS の典型的な不健康体形

- ・肥満 ・かえる腹 ・小顎症
- ・猪首 ・喉への脂肪沈着 ・二重顎

◆SAS は昼の眠気から事故につながる

・作業能力、判断力が低下し、反応時間が遅延し、これにより事故（交通・職業・転倒）の割合が 2～3 倍に増える

◆海外の SAS による重大事故

- 1979 アメリカ・スリーマイル島原発事故
- 1986 スペースシャトル「チャレンジャー」爆発事故
- 1986 チェルノブイリ原発事故
- 1989 アラスカ沖タンカー座礁事故
- 1995 スタープリンセス号の座礁事故



講演する青木俊樹先生

◆国内の SAS による重大事故

2003 山陽新幹線運転手居眠り運転、事故発生。

2005 名神高速道路で大型トラック衝突 7 人死傷事故

2012 関越道ツアーバス防音壁に衝突 45 人死傷事故

◆2014 年 6 月 1 日施行改正道路交通法

- ・病気等に関する質問票に回答することが義務化
- ・過去 5 年以内において、十分な睡眠をとっているにもかかわらず日中、活動をしている最中に眠り込んでしまった回数が週 3 回以上となったことがある
- ・SAS でも「眠気はない」という方が多いが $AHI \geq 30$ は重症なので欠格条項となりうる ($AHI=1$ 時間あたり平均無呼吸回数)

◆SAS 患者は健常者と比べ循環器疾患を合併しやすい

- ・高血圧約 2 倍 ・狭心症・心筋梗塞 2~3 倍 ・慢性心不全約 2 倍
- ・不整脈 2~3 倍 ・脳卒中約 4 倍 ・糖尿病 2~3 倍

◆検査は簡単・自宅に持ち帰って一晩

- ・付けてみる簡易型 SAS モニター

◆大町病院では脳卒中関連入院患者のほぼすべての人に簡易 PGS を実施（検査代病院持ち）

◆AHI（ $AHI=1$ 時間あたり平均無呼吸回数）が SAS 重度の指標となり治療方針を決定

重症度	AHI	治療方針
軽症	5~15 未満	生活改善、横向き寝、体位指導
中等症	15~30 未満	口腔器具（マウスピース）
中等重症	20 以上	CPAP(持続陽圧呼吸器)療法
重症	30 以上	CPAP(持続陽圧呼吸器)療法

(文責:高橋)

睡眠時無呼吸症候群の治療は大町病院

脳神経外科で受診しよう！！

地域の産科医療を考える県シンポジウム

3月12日、地域の産科医療を考えるシンポジウムが県医師確保対策室主催で長野市で開催されました。守る会から高橋次長が大町病院での一昨年の署名活動と産科医師確保の取り組み、守る会の活動について発表しました。

新入職員ガイダンスでプレゼン

4月3日（月）新任職員に辞令交付が行われました。それに先立ち新入職員ガイダンスが行われました。新任医師は研修医を含めて5人、新規採用職員は合計22人です。守る会では北村喜男会長が歓迎のあいさつ、高橋次長がパワーポイントで歓迎と病院の課題について力を合わせて取り組み経営再建を進めようと訴えました。

具体的には平成32年までに再建を果たすこと。そのために各自が何をしたらよいかを考え、市民とのパイプ役である守る会と手を携えて取り組んでいこうと訴えました。今回のガイダンスよりグループディスカッションが行われ職員としての自覚を高める設定がされ、改革に向けて歩き始めました。

待望の物置が設置される

3月13日、西病棟西側の自転車置き場に守る会のスチール製物置が設置されました。これは人事で異動された鈴木滋医師のご寄付で設置しました。守る会の小道具類が置かれ、活用されることとなります。



研修医の異動に伴い送別会

山下・高野先生また来てください



3月23日、市内の小料理屋で山下裕騎、高野敬佑研修医の送別会が開かれました。

研修医の先生方には「SOSが出たら必ず大町病院へ来てくださいよ！」と固い握手で約束を迫りました。

山下先生、高野先生ともに信州大学病院へ、3月一杯で異動されました。ありがとうございました。

先輩医師が研修医を激励

3月1日、大町病院で研鑽を重ねる研修医を囲み先輩医師が激励を兼ねていっぱい会を「とりしん」の焼き鳥で行いました。大勢の先輩医師が駆けつけてくれ、研修医の皆さんも元気づけられたようです。この日は14人が集まり盛大に行われました。



イルミ撤去作業を役員と十日会の協力で

3月19日、早朝より、冬期間、市民、患者、職員の心を癒し続けた20メートルのイルミネーションが十日会の皆さんの力を借りて収納されました。12月1日点灯以来109日間輝き続けました。お疲れ様でした。



総会前の午前中にペチュニアの花植え 花壇の草取り、午後は総会へ

総会の行われる5月20日（土）午前9時より病院玄関前に集合し、花壇の草取り、プランターへのペチュニア80数株の花植えを計画しています。11時には解散します。個人会員はじめ団体会員の皆さん、職員の皆さんの積極的な参加をお願いします。

第8回総会は5月20日（土）午後2時から

守る会第8回総会は5月20日（土）午後2時から大町病院南棟さくら講堂です。28年度事業報告、決算報告、監査報告、29年度事業計画案、予算案、規約改正、継続討議案などです。総会終了後一般公開による大町病院副院長太田久彦先生による講演会を予定しています。演題は「医療倫理について」です。

テーマ「知ってふれあう わたしの健康 みんなの病院」

第8回病院祭は生命と地域を守るために

講演は、関口健二先生（総合診療科=信大教授）

8回目を迎える大町病院祭はこれまでの在り方を検討し、屋内中心に健康と生命などの取り組みに重点を置きながら、ステージでは地元の方々の出し物を優先、地域とのつながりを強めます。またこれまで「間」がないステージでしたが、少し時間的な余裕を持たせることとします。なおメイン講演は全国に引っ張りだこで執筆活動でも多忙な関口健二先生（総合診療科）です。経営危機の中で経費をできるだけ節減したいので、販売出店される方にはご負担をお願いすることとなりました。

会員各位

市立大町総合病院を守る会
会長 北村 喜男

第8回市立大町総合病院を守る会総会の開催について (通知)

第8回総会を下記のとおり開催します。ご多忙のところ恐縮ですが
ご出席ください。

なお出席できない場合は別添ハガキにて委任状を必ず提出ください。

記

- 1 日 時 5月20日(土) 午後2時～(受付午後1時30分～)
- 2 会 場 大町病院南棟 さくら 講堂
- 3 議 題 28年度事業報告、決算報告、監査報告
29年度事業計画案、予算案、役員 規約改正案、など
- 4 その他

※総会終了後、太田久彦先生による公開講演会「医療倫理について」が
3時より開催されます。 終了予定時刻は4時です。

会費の納入者(28年度会計閉鎖まで)

中島節子、藤原賢司の皆さんでした。ありがとうございました。

インターネットに守る会会報が掲載されています。御覧ください。

守る会会報1号から52号までがインターネット上に掲載されています。

「市立大町総合病院ホームページ」の右側下段の「病院を守る会」バナーをクリック、または
「市立大町総合病院を守る会」で探してみてください。

市立大町総合病院を守る会主催

公開講演会

皆さま誘い合ってお出かけください！！

大町病院副院長

太田久彦先生講演会

日時 平成29年5月20日（土）

午後3時～

演題「医療倫理について」

会場 市立大町総合病院 南棟「さくら」1階講堂

講師 市立大町総合病院 副院長

太田 久彦（おおた・ひさひこ）先生

入場料 無 料

主催 市立大町総合病院を守る会



太田久彦先生のプロフィール

専門医等：● 内科学会認定医 リハビリテーション医学会認定医

所属学会：● 総合健診医学会 日本内科学会 日本リハビリテーション医学会

得意分野：● 健診医学 内科学 リハビリテーション医学

大町病院を守るためにあなたの力をお貸しください。守る会加入大歓迎！

※ インターネットで「市立大町総合病院」ホームページの右側下に病院を守る会のバナーがあります。または「大町病院を守る会」と検索すると会報が掲載されています。ご覧ください。

※ 守る会会員を募集中です。会費は年間1,000円です。ふるってご加入ください。会報を郵送します。問い合わせは事務局長種山 090-3093-2032 または事務局次長高橋 090-4054-2747 まで。

市立大町総合病院を守る会 会長 北村 喜男